

【日時】平成29年10月16日(水)9時30分~11時

【会場】海老名市総合福祉会館

【出席】海老名市社協(中島)、海老名市危機管理課(野地)、海老名災ボラ(橋本、福田)

【議題1】前回以降の災害関係事業の振り返り

(1)「体験型講座：減災・災害対応訓練」(9月24日)の振り返り

【主催】海老名災ボラ、【協力】海老名市社協、海老名市

【日時】2017年9月24日(日)10時~13時

【場所】海老名市総合福祉会館(1階の室内及び室外)

【課目】①水の備蓄と水運び、②災害時のトイレ利用の方法、③家具の固定+ガラス飛散防止
④災害の照明と通電火災防止対策、⑤食糧の備蓄と災害食の試食、⑥シェイクアウト訓練

【広報】「広報えびな」9月1日号(危機管理課に担当して頂きました)

「タウンニュース海老名版」(海老名市社協に担当して頂きました)

【応募・出席】応募者は24名、当日の出席者は22名(60歳代が多かった)。

【次第】開会式、司会：社協(中島)、挨拶：災ボラ(橋本代表)、危機管理課(山口、野地)

【災ボラ会員の出席者(説明員役)】9名

〈出された意見〉

① 出席者が22名と昨年に比べて増加した原因は何か？効果的なPRは何か？

「広報えびな」9月1日号の防災特集の中に、9月24日開催の体験型講座の記事があったので、それを読んで参加した人も少なくなかったと思われる。PRのタイミングが良かった。今後、年間スケジュールで早めに決めておけば、海老名市の広報紙を活用できる。例えば、毎年5月1日に発行する市内全自治会に配布する「海老名災ボラネットワークだより」に掲載することも考えられる。

② 出席した方防災に関心の高い人が多かった。

出席者アンケート調査に表われているように、出席者の多くは防災・減災にかなり感心の高い人である⇒災害への備えも一定程度は既に実施している方が多かった。防災・減災にかんして、こうした関心の高い人たちを通して、比較的関心の薄い人たちへの波及していけばよいのだが。

③ 出席者を通してE自治会と災ボラとの繋がり(防災訓練への協力)が生まれた

この体験型講座に、海老名コーポレス団地自治会の役員が参加していた。講座終了後に、12月17日(日)海老名コーポレス団地自治会の主催する自主防災訓練に対して協力すること(「災害時のトイレの使い方」の説明)になった。また、この団地自治会長と橋本代表が話して、今後、海老名災ボラの団体会員になることを約束して頂きました。

(災ボラが作成した「9月24日、体験型講座：減災・災害対応訓練の報告」を参照。)

(2)「安全・安心フェスティバル」with「扇町防災フェス2017」への協力

第11回えびな安全・安心フェスティバルと第2回扇町防災フェスの同時開催

【主催】実行委員会（一般社団法人海老名扇町エリアマネジメント+市地域づくり課など）

【協力】海老名市、【後援】海老名市教育委員会

【目的】扇町地区の防災意識の醸成と地域コミュニティの形成・賑わいの創出

【日時】10月7日（土）10時～16時【場所】海老名駅西口中心広場、西口プロムナード

【出席】防災イベントを支援するスタッフ（ボランティア）として参加（災ボラ2名+社協3名）
災ボラの担当：水消火器での的当てゲーム（橋本）、毛布を使った担架での搬送ゲーム（福田）。

【出された意見】

- ① これまで「安心・安全フェスティバル」にブースを出して参加していた防災関連の市民団体（海老名災ボラを含む）が、今回の扇町フェスにはそういう形では参加できなかった。今後、海老名市全体「安全安心フェスティバル」は「扇町フェス」に吸収されて無くなるのか？
- ② 子どもが「楽しく」防災に関心を持つようにゲーム形式になっているものがあつた。その意味で、災ボラとしても学ぶ点が多くあると思う。しかし、「毛布を使った担架で怪我人（人形）の搬送」では「搬送のスピードを競うゲーム」で、早く搬送することに力点を置いている家族や、安全に搬送することに重点を置いている家族など、親の対応は様々であつた。
- ③ ボランティア・スタッフとしての参加であつたが、10月はいろいろなイベントとがあり、日曜日の9時～16時に参加することは大変だつた。

【議題2】来年の「災害救援ボランティアコーディネーター養成講座」の実施について

主催は、社協と海老名災ボラ（共催）で、海老名市（危機管理課）の協力を得て実施する。

- 来年の「コーディネーター養成講座」について、次の日程を決めた。

第1日目：来年2月17日（土）10時～13時頃、座学（講義）中心。

第2日目：来年2月24日（土）10時～13時頃、救援ボランティアセンター開設訓練（実技）

- 「養成講座の参加者募集のPR」について

- ・「海老名災害ボランティアネットワークだより」11月1日号に掲載。
- ・「ぬくもり通信」（社協）2018年1月1日号への掲載
- ・「広報えびな」2018年1月15日号への掲載

【講座の内容】詳細は11月13日の3者定例会で決める。従来実施してきたことに加えて

A案：DIG（災害図上訓練）や「HUG」（避難所運営ゲーム）をプラスするか。

B案：救援ボランティアセンター運営の経験のある被災地の方を呼んで講演会を開催するか。

【議題3】その他

(1) 平成30年度「ビックレスキューかながわ」（神奈川県・海老名市合同防災訓練）の件

「ビックレスキューかながわ」の会場は海老名市（主会場は神奈川県立相模三川公園）が予定されている。神奈川県（安全防災局）と海老名市（危機管理課）が打ち合わせをした。県からは海老名市に「実施して欲しい事業」として、ボランティアセンターの訓練などが出された。駅から会場までのシャトルバスの運行は、県予算の関係で出せるかどうかは現在のところ不明。 以上